



おしらせ

第 1 回

シンポジウム開催
2009 年 1 月 15 日に
第 1 回シンポジウム
を宮崎大学木花キャン
パスにて開催しま
す。

第 2 回

大学院研究者支援
セミナー開催
2009 年 2 月 10 日に
第 2 回セミナーを清
武キャンパスにて開
催します。

目次

女性・男性にとって本
当に働きやすい環境を
目指して・・・1

清花 Athena サポート
室設立・・・1

これまでにを行ったサ
ポート室の取り組みを
ご報告します・・・2

アンケートにご協力あ
りがとうございまし
た・・・2

宮崎大学学祭清花祭に
出展いたしました・・・3

清花 Athena サポート
室のご案内・・・4

清花 Athena サポート
室のシンボル・・・4

コラム・・・3

女性・男性にとって本当に働きやすい環境を目指して

～ 文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業～
「逆風を順風に 宮崎大学女性研究者モデル」について

これまでも本学では、女性研究者の支援として「くすのき保育園」などインフラ整備、女性枠のある研究助成などをしてまいりました。また、女性研究者は、教員 80 名 (13.4%)、修士・博士課程では 241 名 (30.7%) を占め、修士・博士課程の女子入学者数も右肩上がりに増加しています。しかし、平成 18 年度医学部にて女性採用に対する数値目標の設定に 50% が反対であるというアンケート結果も得ました。この結果を踏まえ、「逆風を順風に 宮崎大学女性研究者モデル」プログラムを発足し、文部科

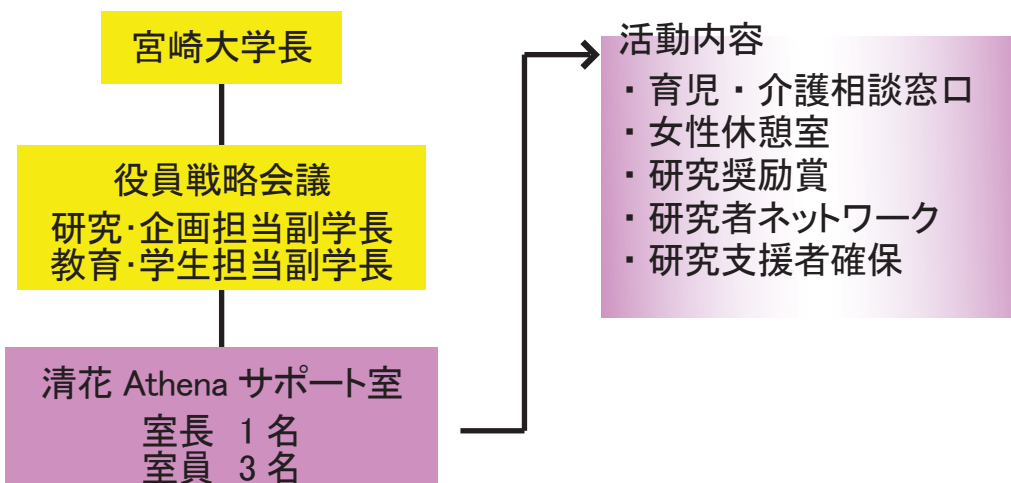
学省が支援する科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」の採択を受けました。本プログラムは女性研究者がその能力を十分発揮できるように、環境の整備や意識改革、研究と育児・出産の両立を目指す取り組みをさらに充実させていくとともに、数値目標への理解を目指す取り組みを新たな主要事業とし、“逆風を順風に変えるためのプラン”いわゆる“女性研究者への意識改革”を目標に地方における女性研究者支援のロールモデルとなるよういくつかの取り組みを行っていきます。

清花 Athena(アテナ) サポート室設立

「逆風を順風に 宮崎大学女性研究者モデル」プログラムの統括と女性職員、研究者、研究者を目指す女性、そして研究者を支える女性たちが、それぞれの立場にかかわらず、仕事や研究・勉学と妊娠・出産・育児・介護などといった家庭の両立を成し、仕事の継続が可能となるよう、後方支援および内面支援を充実させることで、女性・男性にとって働きやすい環境づくりを推進するため開設しました。



清花 Athena サポート室の実施体制



これまでに行ったサポート室の取り組みをご報告します。



8月、中高校生が参加する「サイエンスキャンプ」にて伊達室長が講演をいたしました。また、小中高校の指導者が参加する「自然科学指導者講座」にも参加しました。この2つの参加はプロジェクトの大きな柱でもある「次世代育成」の一貫で、これから研究者を志す子供を増やしていこうというものです。



どちらの参加者もやる気を満々に参加し、研究者への興味や今後への提案など様々な意見を伺うことができました。ここから一人でも多くの研究者が宮崎大学に生まれることを願っております。

10月11日、100人委員OGの会が主催する「第2回 東国原知事を囲む会」の中でも「女性医師・研究者の現状と課題」と題して本事業内容を発表しました。当日は宮崎県知事東国原氏にもプロジェクトの成立ちや概要を聞いてもらい、女性研究者への支援の必要性を認識していただきました。また、10月の終わりには宮崎放送(MRT)と宮崎日日新聞でサポート室の取り組みの取材があり、



宮崎でのモデルケースとして活躍していることを紹介していただきました。このように地元メディアを通じて学内外の人にサポート室を知ってもらうと同時に職場における女性支援必要性、女性職員の現状と課題について共に考えていければいいと思っております。

10月6日には、千葉大学で行われた文部科学省技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業第2回シンポジウム「キャンパスにおけるワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」にポスター展示にて参加しました。千葉大学は2007年の事業採択機関で今回は千葉県知事堂本曉子氏を招いて講演会が開催されたました。本学でも来年1月15日に第1回シンポジウムを行い、本学及び他の大学・研究機関の取り組みを知っていただきたいと思います。



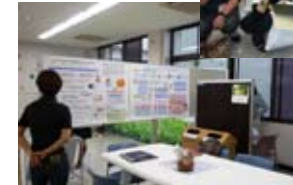
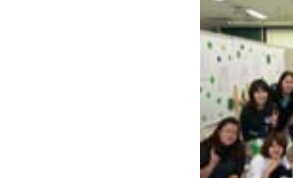
アンケートにご協力ありがとうございました。

10月より木花キャンパスを対象にアンケート調査を行いました。全学の女性研究者への数値目標、支援に関する意識と問題点を把握するために2007年に医学部にて行ったアンケートと同様の内容で実施しました。アンケートの集計結果は右表のとおりとなっております。また、分析結果については、2009年1月15日に木花キャンパス附属図書館3階視聴覚室で行うシンポジウムにて報告することになっております。是非、ご参加ください。

	教育学部			工学部			農学部			合計		
	在籍数	回答数	回答率(%)	在籍数	回答数	回答率(%)	在籍数	回答数	回答率(%)	在籍数	回答数	回答率(%)
教員	107	51	46.8%	99	73	73.7%	105	97	89.0%	317	221	69.7%
非常勤教員	2						4					
ポストク							4	2	50.0%	4	2	50.0%
修士課程(教職大学院含)	85	30	35.3%	262	131	50.0%	164	106	64.6%	511	106	20.7%
工学部研究科(博士課程)				21	9	42.9%				21	9	42.9%
鹿児島大学連合農学研究科(博士課程)							9					
山口大学連合獣医学研究科(博士課程)							17	21	25.9%	81	21	25.9%
農学工学総合研究科(博士課程)							55					
合 計	194	81	41.8%	382	213	55.8%	358	226	63.1%	934	359	38.4%

宮崎大学学祭 清花祭に出展いたしました。

11月15日から16日に開催されました、宮崎大学学祭「清花祭」の医学展きもち企画内に「Athena Cafe」として出展し、プロジェクトとサポート室の紹介を行いました。多くの方にご来場いただき、心よりお礼申し上げます。学生や教職員、外部の方々にもサポート室や取り組みについて理解いただけたものと確信しております。また、様々な世代から意見を伺うことができ、これからの活動に活かして行きたいと思っております。



Column

サポート室室員によるコラムです。



齋藤 伊達 柳田 外
室長

先月、祖母山に行ってきました。祖母山は大分県と宮崎県にまたがる標高1,756mの山で、宮崎県最高峰の山です。まだ紅葉には早いようですが、頂上からは空気が澄んでおり遠くは大分県まで展望できました。充実した一日で終わるはずでしたが、下山中トラブル発生。“購入したばかりのストック(杖)がない”どうも頂上に忘れてきたみたいです。登り返す余力も時間もなくなり、後続のおじさんが「忘れ物だよ」と持ってきてくれました。やはり、山を登る人には悪い人はいない!おじさん、ありがとうございます!祖母山あへの活力をもらえました。感謝・感謝の一日で、明日 齋藤

はじめましてサポート室のでっち、柳田です。研究者の方も活用が多いPowerPointを含むMicrosoft Officeシリーズですが、いろいろな“?”も多いはず。一応、元インストラクターなのでMicrosoft Officeシリーズの多い“?”や活用術をお話ししていきたいと思ひます。「んなこつ知っちゃうよ〜」って方は飛ばして読んでください。

最近、送られてきたファイルがOfficeの絵(アイコン)になるのに開けないってことありませんか?これはOffice2007から保存形式が変更になり、拡張子(ファイル名の末尾につけられたファイルの種類を識別するために付けられた文字列)が変更になったからなんです。これを今までのOfficeソフトで見ようとすると開けません。が、Office2000以降でしたらMicrosoftから出ているプログラムをインストールすると開く、編集、保存を行うことができます。インターネットで簡単に取得できます。詳しくはMicrosoftホームページのWord/Excel/PowerPoint 2007 ファイル形式用 Microsoft Office 互換機能パック (<http://office.microsoft.com/ja-jp/products/HA101686761041.aspx>) です。ご覧になってください。

Office2007を利用されている方は画面の左上のoffice ボタンから「名前を付けて保存」にマウスを置くと「...97-2003...」で以前の拡張子で保存ができます。まだまだ普及が追いついてないOffice2007なので人に渡すデータはちょっとひと手間ですが旧バージョンで保存したものをお送りください。という私もうっかりしちゃうこともあります...



明るい室内と
使い慣れた家具



色鮮やかな談話室

「デンマークの福祉は素晴らしいから、ぜひ一度行ってみるといいですよ」とお世話になった先生から言われました。

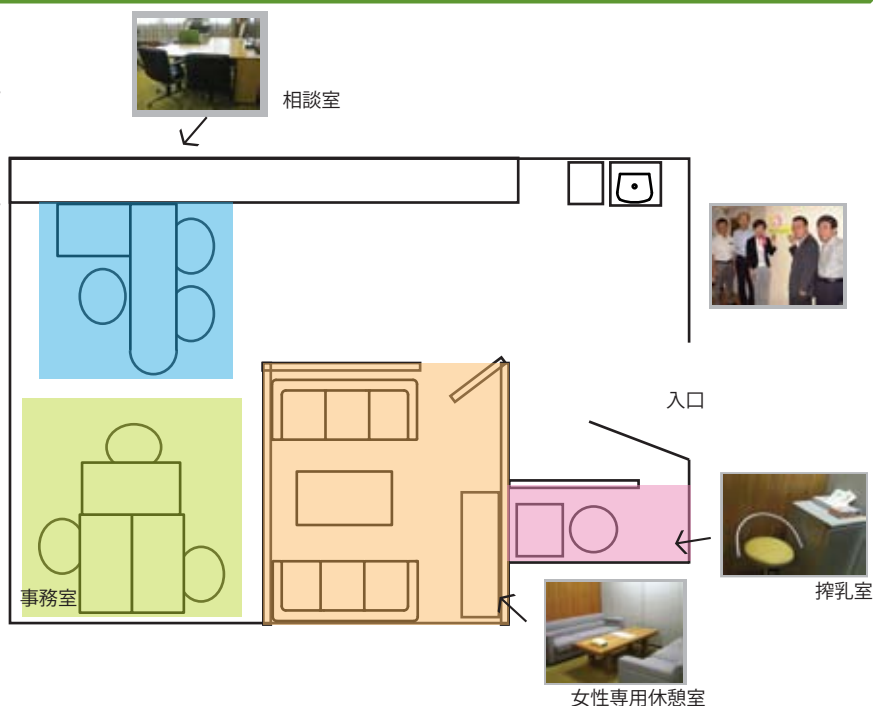
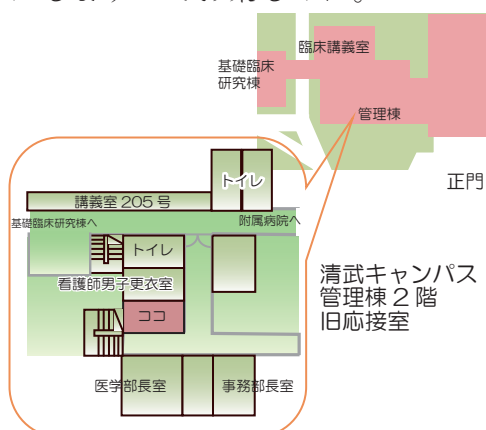
先生は昨年、デンマークに福祉研修旅行に行かれていて、日本の特別養護老人ホームにあたる「ブライエム」の写真を見せてくださいました。まず目に飛び込んだのは、鮮やかなカーテンや明るい室内、花のある食事風景です。日本の特養とは随分イメージが違い、とてもおしゃれ。ブライエムでは、自分の好きなカーテンを選び、家具は使い慣れた我が家の家具を運び入れます。なぜかという、病院のような一時的な場所ではなくブライエムは生活の場であるのだから、自分が過ごしやすいようにすることが当然だからです。部屋毎に住所を持ち、郵便ポストがあり、電話番号がある。生活の場として当然のことが羨ましくかんじてしまうのはなぜでしょう?

デンマークは収入の約50%が税金ですが、国民は税金を「預ける」という意識なんだそうです。ですから、政治に対しても高い関心がありますし、政治汚職のない国として知られています。日本人は税金を「とられる」って言うてしまひますよ...

日本とはいろんなことが違っていて、デンマークに興味津々です!!

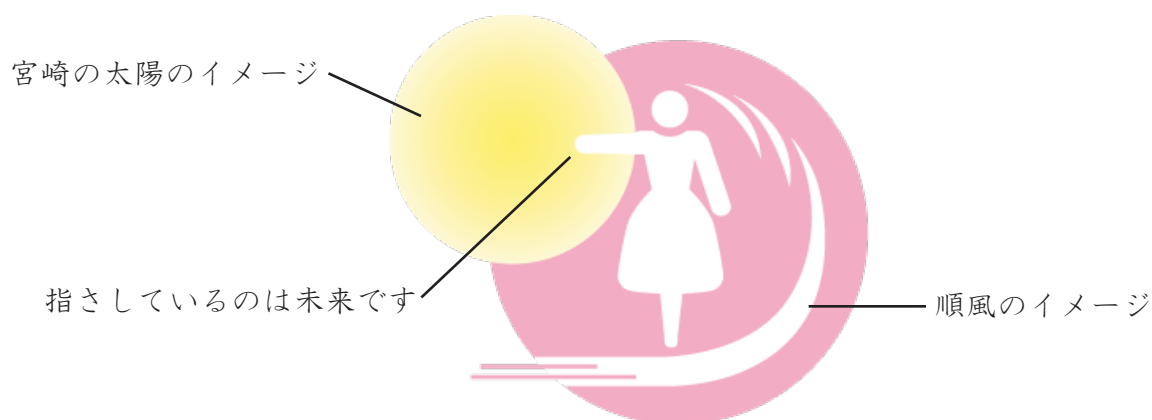
清花 Athena サポート室のご案内

清花 Athena サポート室はここにあります。女性休憩室や搾乳室、相談窓口もありますので気軽に来て下さい。また、2008 年度中には木花キャンパスに分室ができます。また、本誌やホームページなどでご案内いたしますので楽しみに。



清花 Athena サポート室のシンボルについて

サポート室のシンボルマークを紹介します。宮崎と女性の優しさを表現しています。



シンボルを左にたおし、(太陽をイメージした)
黄色い円上にして見ると、優しく抱き抱えられています。

編集・発行

清花 Athena サポート室

〒889-1692

宮崎県宮崎郡清武町大字木原 5200 宮崎大学医学部内

TEL&FAX: 0985-85-1252 内線 (95) 2327

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/~kiyohana/>

E-Mail: info-athena@med.miyazaki-u.ac.jp



編集後記

はじめての Newsletter いかがでしたでしょうか？つたない所もあったかと思いますが、プロジェクトやサポート室を身近に感じていただけたでしょうか？来月には初めてのシンポジウムを開催いたします。皆さんの男女共同参画・女性支援への考えの礎になればと思っています。